

小学5年2組 社会科学習指導案

指導者 大坂慎也

大西さんの米づくりとそこにこめられた思いや願いをもとに自分の考えをもち話し合う場を設けたことは、これからの米づくりについて自分なりの考えをもち、わたしたちの生活と結びつけて考えるのに有効であったか。

1 単元名 米づくりにたずさわる人の思いを探ろう

2 単元のねらい

米づくりにたずさわる人の米づくりに対する思いや願いを通して、米づくりの仕組みや工夫・努力をとらえるとともに、米づくりにたずさわる人たちの工夫や努力がわたしたちの生活を支えていることを考えることができる。

3 授業の構想

(1) 以下は、「世界の中での日本の国土を探ろう」の学習を終えたときの児童Aが学習を振り返って書いたものである。

世界の中で日本がどこにあるのかをみんなで考えました。日本が真ん中にある世界地図しか見たことがなく、それが当たり前の地図だと思っていたので、外国の世界地図を見たときは驚きました。外国の人にとっては自分の国が地図の中心にあることが当たり前のことだと気がつきました。これまで当たり前だと思っていたことが実はそうではなかったり、いろいろな外国の人の立場に立って考えたりすることは、とてもおもしろいし、大切だと思いました。これからは今日勉強したことを忘れずに、社会でいろんな考え方をしていきたいです。
(児童A)

当初、児童Aは世界の中での日本の位置を表す時、「日本は地図の真ん中にある」「オーストラリアの上の方にある」などという誤った見方・考え方をしていた。しかし、日本が世界地図の中央に表されていない外国の地図や、南が上になっている地図を見ることで、これまで当たり前だと思っていた日本が中心にある世界地図が、実はそうではなかったという事実にも驚きをもって気付いていた。ここからは、学習を進めるにつれ、これまでとは違った見方・考え方をすることの大切さや、またそうすることで分かってくる事実に対するおもしろさにも気が付き、これからの学習に生かしていこうとしている姿が見られた。

本単元で扱う米は、子どもたちが日常的に口にしているものだが、その米がどのような思いで、どのようにつくられて自分たちのもとに届けられているか意識しながら食べている子どもは少ない。日々当たり前のように食べている米が、たくさんの人の工夫や努力、思いや願いによって作られ届けられていることを調べたり理解したりすることで、米づくりにたずさわる人たちの工夫や努力がわたしたちの生活を支えていることを考えることにつながると考える。

(2) 米は日本人の主食である。おいしく、安全で、より求めやすい価格といった消費者のニーズにこたえようと、米づくりにたずさわる人たちは工夫や努力を重ねている。米づくりの機械化や農地を集約してより生産性を上げたり、減農薬、あいがも農法などで農薬に大きく依存しない栽培方法を確立したりしている。また米の品種改良を通して、よりおいしく、より生産性の高い米づくりも行われている。

しかし現在、米づくりにたずさわる人の高齢化や後継者問題、米の消費量の減少など、米づくりを取り巻く環境は厳しいものになっている。そのような中でも、米づくり農家が協力して勉強会を開き、よ

り効率的な米づくりを話し合ったり、耕作放棄地をつくらないように米づくりを請け負ったり、生産者と消費者の交流を積極的に行ったりする取組も進められている。

このようなことを各種資料で調べたり、米づくりにたずさわる人をゲストティーチャーとして招いて話を聞いたりする。そして、米づくりの問題点に対する取組や米づくりにたずさわる人の思いや願いをもとに学び合いを行うことで、思考力・判断力・表現力の高まりが期待でき、そこで学んだことを自らのくらしにいかそうとするのではないかと考える。

- (3) 本単元では、米づくりにたずさわる人が、どのような思いや願いをもちながら米づくりを行っているのかに視点を当てる。米づくりにたずさわる人をゲストティーチャーとして招き話を聞いたり質問したりしながら米づくりにたずさわる人の米づくりに対する思いや願いを知ることによって、米づくりの問題点に対する工夫や努力などを考え、米づくりにたずさわる人の工夫や努力が私たちの生活を支えていることに気付いて欲しいと願っている。

導入として米づくりにたずさわっている大西さんをゲストティーチャーとして招き、どのように米づくりをしているかについての話を聞く。大西さんの米づくりの取組を聞くことで、安全な米を作るために農薬の使用量を減らしたり、作業の機械化や機械の共同化を行い、米づくり農家同士が協力して効率的に米づくりを行ったりしていることなど、米づくりにおける工夫や努力を考えることができるようにする。

また、大西さんの米づくりと比べながら米づくりが盛んな庄内平野を取り上げ、そこでの米の生産量や作付面積などを調べながら大規模な農業経営を行っている地域もあるという日本の米づくりの現状をとらえられるようにする。そして「第1の学び合い」で米の消費量の減少や農業従事者の高齢化など今日の米づくりの問題点を考える。

本時は「第2の学び合い」の場として、大西さんの話を聞き、これからの米づくりについて自分なりの考えをもち、話し合う時間である。「第1の学び合い」後、大西さんをもう一度ゲストティーチャーとして招き、米づくりの問題点に対する取組やそこにこめられた思いや願いなどを聞く。ここでは、耕作放棄地を少なくしようと米づくり農家の田んぼを請け負って米づくりを行ったり、米づくりの面白さなどを伝えるために生産者と消費者との交流活動に取り組んだりしている大西さんの米づくりの問題点に対する取組や米づくりに対する思いや願いをとらえられるようにする。そして「第2の学び合い」では、米づくりのかかえる問題点と、それに対する大西さんの取組と思いや願いをもとに、これからの米づくりについて自分の考えをまとめ話し合うことで、米づくりにたずさわる人たちの工夫や努力がわたしたちの生活を支えていることに気付くことができるようにしたい。

4 展開計画（全12時間 本時12/12）

次	主 な 学 習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学び合い）
1	大西さんの米づくりと、庄内平野の米づくりを比べながら、日本の米づくりを調べよう。	1 2～6 7～8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・大西さんの米づくりの話を聞く ・大西さんの米づくりの様子をまとめ、大西さんが自然環境を生かしながら米づくりをしていることや、米づくりのために機械化や作業の共同化、減農薬など、米づくりにおいて工夫や努力をしていることを調べる。 ・日本で米づくりがさかんな地域や日本の米づくりの現状を調べる。 ◇米づくりの問題点を考える。
2	大西さんがどんな思いや願いをもって米づくりをしているのかを考えよう。	10 11・⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・大西さんの、米づくりの問題点を解決するための取組についての話を聞く。 ◇大西さんの話を聞き、これからの米づくりについて考える。

5 本時の学習

(1) ねらい

大西さんの米づくりへの取組を聞いたことを受け、これからの米づくりについて自分なりの考えをもち、わたしたちの生活と結び付けて考えることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組 (◎は、学びをいかしている子どもの姿)	教師の支援と願い・評価
<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大西さんの取組について聞いたことをもとに、これからの米づくりについての自分の考えをまとめよう</p> </div> <p>2. 大西さんの取組を聞き、これからの米づくりについて自分の考えを話し合い、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全な米をつくって、みんなに届けるようにしたい。 ・おいしい米をつくりたい、米のおいしさをたくさんの人に伝えたい。 <p>◎耕作放棄地が増えているから、米づくりをやめてしまった人から米づくり作業を会社として請け負い、米づくりを続けている。島根の米づくりの農業をつぶしてはいけないと考える大西さんはすごいと思う。</p> <p>◎米づくりをしている人が高齢化している。大西さんがしているように小学生に対する米づくり体験に協力したりし、少しでも若い人たちに米づくりの面白さや大切さを伝えることで、米づくりをする人を増やそうと願って活動することが大切だと思う。</p> <p>◎大西さんが話していたように、仲間と米づくりの勉強会を開くことで、より効率的に米をつくったり、自分たちがつくった米がもっと売れるように考えたりと、米の消費量の減少といった問題を解決しようとするのが、これからの米づくりには必要だと思う。</p> <p>◎大西さんは米づくりの様々な問題点に対して、それを一つ一つ少しずつ解決し、米づくりの農業をもっと元気に、盛んにしようと思って働いている。大西さんのような人がたくさん出てくることが、これからの米づくりに必要だと思う。</p> <p>3. 本時を振り返る。</p> <p>◎米づくりにはたくさんの問題点があることが分かり、その問題に対して大西さんたちは熱い思いや願いをもって、それらの問題に一生懸命に立ち向かっていっていることを知って驚きました。これまでは何気なくお米を食べていたけど、そのような人たちがいるから私たちはお米を食べることができるんだと思い、大西さんたちに感謝して食べたいです。</p>	<p>・これまでの活動を振り返ることができるように、前時までの活動の様子を教室に掲示しておく。</p> <p>・これまでの学習をもとにした発言の良さを認めることで、米づくりが抱える問題点など、これまでの学習と関連付けて根拠が述べられるようにする。</p> <p>・大西さんの話を振り返ることで、これまで学んできた米づくりについての工夫や努力、問題点と大西さんの取組とをつなげて考えることができるようにする。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>評価の観点 (社会的な思考・判断・表現)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>大西さんの米づくりへの取組にこめられた思いや願いを考えることで、米づくりにたずさわる人の工夫や努力がわたしたちの生活とどのように結び付いているのか説明している。</p> <p>【評価方法 発言、ノート】</p> <p>支援</p> <p>大西さんの米づくりの問題点に対する取組を思い出せるようにする。</p> </div> </div>

(3) 思考力・判断力・表現力の評価

評価基準	A	B	C
	米づくりの抱える問題点と大西さんの取組とを関連付けて考え、米づくりにたずさわる人たちの工夫や努力がわたしたちの生活とどのように結び付いているのか説明している。	大西さんの取組に対する思いや願いを考えることを通して、米づくりにたずさわる人たちの工夫や努力がわたしたちの生活とどのように結び付いているのか説明している。	大西さんの取組への思いや願いを考えるにとどまっている。